

愛知県アレルギー疾患医療拠点病院実績報告書

病院名： あいち小児保健医療総合センター

愛知県アレルギー疾患医療拠点病院設置要綱に基づき、下記のとおり報告します。(令和6年5月1日現在)

1. 病院の機能及び医師等の配置

項 目	該当
一般社団法人日本アレルギー学会の認定教育施設であること	○
内科、小児科、皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科領域の診療科が全て設置され、その医師が常勤していること、または、愛知県における小児アレルギー疾患医療の中心的な役割を担っていること	○
アレルギー疾患に関する専門的な知識と技能を有する薬剤師、看護師、管理栄養士等が配置されていること	○
〔配置状況〕看護師 PAE 1 名、管理栄養士 PAE 1 名	

医師の配置	アレルギー学会会員数	うち専門医数	うち指導医数
内科			
小児科	11名	7名	4名
皮膚科			
眼科			
耳鼻いんこう科			

2. アレルギー疾患に関する「情報提供」「人材育成」「学校、児童福祉施設等におけるアレルギー疾患対応への助言、指導」の取組

	実 績 (令和5年度)			今 後 の 予 定 (令和6年度)		
	診療科	対象者	内容	診療科	対象者	内容
情報提供	アレ科	医師	食物アレルギー関連 12件 アトピー性皮膚炎関連 6件 アレルギー性鼻炎関連 1件 基礎医学関連 1件	アレ科	医師、コメディカル	第61回日本小児アレルギー学会学術大会開催 喘息講演会 FAS あいち講演 Type2 アレルギーweb セミナー アレルギーエドゥケーター受験講習会
		アレルギー大学受講生他	アレルギー大学関連講座、実習 計11件 看護師、医師対象webセミナー 計2件 大学学生講義 計11件		アレルギー大学受講生他	アレルギー大学関連講座、実習 大学学生講義(名古屋学芸大学、愛知教育大学、各種看護大学・看護学校など)
人材育成	アレ科	栄養士	食物アレルギー関連 3件	教職員	エピペン講習会 ぜん息予防講演会	
		保健師	学校における食物アレルギー対応について 5件	栄養士	栄養教諭研修、東京都栄養士会、東京都社会福祉協議会など	
		保育士	アレルギー疾患の理解について 1件	保健師、保育士	研修会(計2回)	
助言指導	アレ科	他	総合アレルギー講習会 実習「経口負荷試験」「食物アレルギーの食事指導」担当 総合アレルギー講習会、日本アレルギー学会 e-learning、相模原臨床アレルギーセミナー、 愛知県アレルギー研修会 各1件ずつ 薬剤師対象 スキンケア指導講習会(web) 1件	他	総合アレルギー講習会 実習担当 薬剤師向け講習会(内容未定) 相模原臨床アレルギーセミナー 愛知県アレルギー研修会	
		愛知県教育委員会	学校給食における食物アレルギー対応に関する検討委員会委員(年2回)	愛知県教育委員会	学校給食における食物アレルギー対応に関する検討委員会委員(年2回)	
		名古屋市他	名古屋市教育委員会:食物アレルギー対応連絡会 委員(年2回) 武豊町教育委員会:食物アレルギー対応委員会 委員 東浦町東浦町学校給食センター:視察 名古屋市環境局:乳幼児アレルギー実態把握等懇談会 委員	名古屋市他	名古屋市教育委員会:食物アレルギー対応連絡会 委員 武豊町教育委員会:食物アレルギー対応委員会 委員 東浦町教育委員会:食物アレルギー対応委員会 委員	

3. アレルギー疾患における「診療」「研究」の取組

	実績（令和5年度）	今後の予定（令和6年度）
診療	<p>食物経口負荷試験を入院で1209件、外来で62件、食物経口摂取後の運動誘発試験を109件実施している</p> <p>日常的に経口免疫療法の指導を行っている</p> <p>消化管アレルギー患者に対して体系的なプロトコールで積極的な経口負荷試験を実施している</p> <p>吸入抗原に対する舌下・皮下免疫療法を実施している</p> <p>重症喘息、重症アトピー性皮膚炎患者に対する分子標的薬を使用した管理を行っている</p> <p>看護師PAEを中心とした体系的なスキンケア指導を行っている。</p> <p>アナフィラキシー症例に対しては救急外来を中心に迅速に対応している。</p> <p>薬剤過敏症に対して診療プロトコールを作成し、積極的に補助検査、薬剤投与試験を実施している</p>	<p>左記診療の継続および地域医療機関との連携を強化すべく努力する</p>
研究	<p>当院が主任研究機関の研究内容のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギー児に対する緩徐微量経口免疫療法の検討 ・鶏卵、牛乳、小麦アレルギー児に対する同時緩徐微量経口免疫療法の検討 ・食物アレルギーに対する急速経口免疫療法に関する研究 ・運動により誘発される即時型アレルギー症状の予後と予後に関連する因子の検討 ・経口免疫療法に対する患児の自己決定支援に関する研究 ・食物アレルギー児に対する入院緩徐微量経口免疫療法の検討 ・乳幼児健診における食物アレルギー発症ハイリスク児の同定と適切な医療機関受診勧奨による発症予防効果の検証 ・新生児・乳児消化管アレルギーと腸内菌叢（細菌+真菌）の関連 ・小児薬物過敏症診療の実態調査および診療プロトコールの検討 ・木の実類アレルギーに対する症状誘発閾値量以下の抗原微量摂取の有効性に関する研究 ・食物アレルギーの解析 ・食品に含まれるアレルギーの変性、低アレルギー化とアレルギーコンポーネントに関する検討 ・クロバネキノコバエに対する有害反応はIgE依存性のアレルギー反応か ・シズオカクロバネキノコバエの発生状況、診療状況調査 ・Buzzy ミニ®使用による生物学的製剤使用時の疼痛、恐怖感の軽減効果 ・経口免疫療法後の運動誘発試験陰性例におけるその後の症状誘発に関する検討 ・カシューナッツ特異的IgE抗体の重症度判定における有用性の検討 ・小児食物アレルギー児を対象とした骨密度調査 ・ミルクアレルギー除去食品の官能評価 ・食物アレルギー児の養育者自身の Quality of Life 	<p>左記研究テーマに関して研究継続および学会、論文発表を行っていく。</p>

4. アレルギー疾患に関する特記事項（独自の取り組み）

認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワークと協働して、アレルギー大学の企画と講師・クリニックにおける出張栄養食事指導事業を行っている。